

「ODA の現地機能強化を推進するために」GRIPS セミナー

「民間セクターの立場から」コメント

JICA 国際協力専門員

上田隆文

2008 年 2 月 8 日

- 国際協力における民間セクターの役割
 - 「援助より貿易・投資を」の時代（自立的発展、自助努力）
 - 途上国の民間セクターの役割（成長のエンジン、生計の手段）
 - 途上国での民間セクター（日本企業）の役割：後で
 - ODA における民間セクターの役割
- 日本企業は相手国に何を貢献しているのか
 - 良いものをより安く提供
 - 原材料・部品・サービスを購入
 - 雇用
 - 外貨（輸出の場合）
 - 税金
 - 経営・労務管理・労働条件など日本的な手法 → 他に「漏れる」作用
 - その他の社会貢献
- 日本企業にとっての途上国：何を求めるか
 - 売り先として（相手国国民、産業、政府）：
 - ◇ 所得向上、経済成長、貧困削減（中間層の拡大）「豊かになってモノ・サービスを買って欲しい。」（注：BOP ビジネス＝「貧困層にも安くて良いものを！」）
 - 生産地として：
 - 原材料・資源供給地として：
 - ◇ 貿易・投資環境の向上「ちゃんとモノを作れる場所になって欲しい。」
 - 政治的・経済的・社会的安定
 - 産業インフラ
 - 政策・法律・制度・政府機関の能力
 - 汚職の問題
 - 人材育成 等々
 - 商工会ビジネス障壁提言
 - （日越共同イニシアティブ？）
 - ODA の受注を目指す企業

- 民間セクターの立場から新 JICA 誕生で気になること
 - JETRO の役割ますます重要
 - ◇ 「継続は力」：民間企業同士のつながり（貿易・投資）を促進
 - 新 JBIC（日本政策金融公庫国際金融部門）を ODA タスクのメンバーに
- 現地 ODA タスクフォースへの参加
 - 援助方針などへのインプット
 - 情報共有・意見交換（バ国では勉強会などに参加）
 - 関心事項に関する他の援助機関の動向を把握、場合によっては働きかけを期待
 - 課題：
 - ◇ 誰が代表を務めるか
 - ◇ 書記局が必要（商工会？JETRO？）
 - ◇ ODA 受注にかかわる企業はどうか？

***** ご参考 *****

ビジネス環境改善事項（2005 年 9 月 8 日ダッカ日本商工会「バングラデシュのビジネス環境改善のための提言書」から）

- ワークパミット・マルチビザ・ダッカ空港の入国手続きは 2003 年以来改善
- インド・パキスタン・中国・タイ・ベトナムと比較
- 治安
- 政策の継続性（二大政党）
- ハルタル（政治ゼネスト）
- 休日
- 賄賂
- 政府調達
- 法人税率
- 通関
- 関税率
- 紛争処理メカニズム
- チッタゴン港
- 道路
- IT 接続料
- 女性の深夜労働禁止
- ワンストップサービスの改善
- 技術力（技能、品質管理、生産管理）
- L/C 支払いの遅延